

1 ふるさと教育の推進

身近な郷土の自然や文化、歴史、産業など、先人の営みを学ぶことを通して、ふるさと香川に対して理解を深め、郷土を愛し、大切に、さらに継承発展させようとする意欲や態度を養い、将来への夢や目標をもって個性や創造性を発揮できる基礎を培うふるさと教育を推進する。

ふるさとのよさを生かした教育計画の作成

◇学校、地域の実態を踏まえ、各教科、道徳科、特別活動、総合的な学習の時間等において、ふるさとに学ぶ学習を位置付ける。

- ・小学校低学年段階から、身近な地域のよさを実感する場の設定と、ふるさと香川に親しむ機会の導入
- ・児童生徒の感動を呼び起こしたり、知的好奇心を喚起したり、自分の生き方や在り方について考えさせたりする場の設定

「ふるさと教材」や地域の教育資源の積極的な活用

◇香川県の自然や文化、歴史、産業などを盛り込んだ「ふるさと教材」等を各教科、道徳科、特別活動、総合的な学習の時間等において積極的に活用する。

- ・各教科等の学習内容と関連付けて「ふるさと教材」等を活用した、ふるさとの素晴らしさを実感できる学習の充実（わがまち副読本ライブラリー設置、ふるさと教材の追加配布）
- ・地場産業や自然、歴史などの各地域の教育資源を活用した体験活動や、地域の人々との交流活動の促進

児童生徒が主体的にふるさとと関わる活動の支援

◇児童生徒自らが、自分の住んでいる地域やふるさと香川に誇りをもち、現在と未来のふるさとのためにできることを見付けられるよう、主体的な活動を促進する。

- ・文化財等を活用した参加型体験学習や文化施設、社会教育施設等において実施される学習についての情報提供
- ・児童会・生徒会の呼びかけなどによるボランティア活動への参加、他校生とのふるさと情報の交流、地域の人々との触れ合い等、学校外での活動の充実

【新たな教材の活用】

- ・児童生徒が、教科学習や総合的な学習の時間等で学んだ、ふるさと香川の「ひと・もの・こと」の中からテーマを選び、作成した百人一首の活用

■関連資料

○わがまち副読本ライブラリーの設置（平成25年度～）

小学校3・4年生の社会科の「身近な地域や市（町）、自分たちの県」の学習や、総合的な学習の時間の教材研究等に活用できるよう、県内各市町教育委員会作成の副読本ライブラリーを設置しています。

